（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスひまわり			
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		～	2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～	2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな環境下での支援	生活の基盤である「家」に近い環境を整えている。事業所でできるようになったことは自宅でもできるよう、特別な場所とせず自宅の延長線上にある場所として環境整備を行っている。	利用者が構えずに自宅と同じ感覚で過ごせる環境作りを継続していく。
2	世代間交流	土曜日や長期休暇中は朝から就学児が利用となるため、一緒に遊んだり活動に参加することができる。	就学児とペアになって参加できるような活動を計画に盛り込んでいる。
3	自然の中での余暇活動	外出活動を多く取り入れる中で、借り上げている畑でじゃがいもやさつまいも、野菜などの収穫を行っている。自然の中でいきいき、のびのびと楽しむことができている。	収穫することが主になっており、種まきや日頃の世話は職員や協力者が行っている。収穫に至るまでの過程を大事にするために収穫以外の活動も取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内での運動が制限される	自宅に近い環境としていることで室内での運動は音が響く。防音マットなどの対策はしているが大きな動きの運動は騒音として近隣住民への迷惑となってしまうため、室内で思い切り体を動かすことは難しい。	運動の活動は近隣の公園を利用し計画的に取り組んでいる。
2	外部連携	関係のある保健、医療、保育、教育との連携はしているものの効果的な体制整備までは至っておらず、十分ではないと考える。	より密接な連携を図れるよう関係構築に努める。
3			